

2. 指導計画

生徒の実態に対応した指導計画(例) < 35時間 >

項目	指導目標	学習内容	留意点	時数
1 家庭生活	家庭、家族とは何かを考えさせ家庭生活への関心をもたせる。	家庭生活領域の学習内容を知り、家庭と家族について考える。 家庭と家族の生活	小学校家庭科の学習を想起させる。	1
2 家庭生活を支える活動				24
(1) 家庭の機能	家庭の機能について考えさせ、家族の立場と役割について理解させる。	家庭の機能について知り、家族の立場と役割について考える。		(1)
(2) 家庭の仕事	家庭の仕事の種類や内容について調べ、家庭の仕事の特徴を理解させる。	家庭のはたらき 家庭での家族の役割 家庭生活を支えている仕事の種類や内容を調べ、その特徴について考える。	衣食住生活にかかわる仕事、家族にかかわる仕事があることに気付かせる。	(1)
(3) 仕事のすすめ方	仕事の進め方には、計画、実践、見直しのサイクルがあることに気付かせ、家族の協力の大切さを理解させる。	家庭の仕事の種類と内容 家庭の仕事の特徴 仕事の手順を知り、時間や能率などを工夫して計画を立てることができる。	家族の一員として自分にできる仕事を自覚させる。	(1)
(4) 食生活にかかわる仕事	食事にかかわる仕事の内容を整理させ、安全で能率的な作業の進め方やこみを少なくする工夫を考えさせる。	食事にかかわる仕事の内容を整理し、見通しをもった計画的な作業の進め方を考える。 仕事の内容 仕事の手順 安全で能率的な作業の進め方 ごみ減量のため工夫 家族のための簡単な食事を整えることができる。	ごみの処理のしかた分別にもふれる。	(1)
(5) 簡単な食事づくり	簡単に整えられる家族のための食事づくりを進んで実践しようとする態度を養う。	食事づくりの計画 食事づくりの実習	加工食品や便利な調理機器の利用法にもふれる。	(6)
(6) 衣生活にかかわる仕事	衣服にかかわる仕事の内容について考えさせる。	快適な衣生活を送るための仕事の内容を考える。 仕事の内容 仕事の手順	事前調査により生徒の実態を把握している。	(1)
(7) 衣服計画	目的や季節にあった着用品ができるように衣服計画を考えさせる。	家庭の経済や衣服の手入れ・収納・保管などの面からむだのない衣服計画を考える。 衣服計画の必要性 衣服計画を立てる手順とポイント 衣服を選ぶときのチェック項目 個性を生かしながら社会生活との調和や習慣を考えた衣服の着方を工夫する。		(1)
(8) 衣服の着方	日常生活に適した衣服の着方を工夫させる。	衣服のはたらき いろいろな着方 衣服の手入れの必要性を考え、繊維に適した手入れの方法を知る。	衣服のむだのない購入、着用品ができるようにする。	(1)
(9) 衣服の手入れ	衣服の手入れの必要性を考え、いろいろな手入れの方法を理解させる。	繊維の種類と洗たくに関わる性質 洗剤の液性・種類・特徴 ワイシャツ・ブラウスの洗たくの方法や通学の衣服の簡単な手入れができる。	洗濯用剤は表示にしたがった適切な使用に留意させるとともに節電や節水について考えさせる。	(3)
(10) 衣服の手入れの方法	手入れのための仕事の流れを考えさせ、手入れの方法を身に付けさせる。	衣服の簡単な手入れができる。 手入れの手順 手入れの方法	アイロンかけ、ほこりや直しは室内の美化に役立つ小物づくりのところで扱う。	(1)
(11) 衣服の整理と収納	衣服の整理・収納の工夫を考えさせる。	衣服の整理や保管のしかたについて話し合う。 衣服の整理 衣服の収納		(1)
(12) 衣服の再利用	衣服の再利用の方法を工夫して有効に活用しようとする態度を養う。	不用な衣服、活用していない衣服の活用方法を考える。	資源を大切にすることをから衣服の再利用の方法を考えさせる。	(1)
(13) 住生活にかかわる仕事	家族が気持ちよく住むための住まいにかかわる仕事について考えさせる。	住まいを安全・快適に保つためにはどんなことをすればよいか考える。 仕事の内容 仕事の手順 住まいの汚れやすい場所 そうじの場所や汚れの種類に応じた手入れができる。	洗剤の使用に関しては表示をよく読み、換気等にも十分注意する必要があることに気付かせる。	(7)
(14) 住まいのそうじ	室内の材質や、汚れに応じた手入れと整理整頓の手順・方法について理解させ実践しようとする態度を養う。	そうじの計画 そうじ用洗剤の種類とはたらき 住まい用洗剤の使い方	小物の製作では、実用面と生活を楽しむための両面を意識させ、不用品の再利用にもふれる。	(1)
(15) 室内の整備と美化	室内の整備と美化に役立つ小物を製作し、活用させる。	室内の整理整頓と美化について考え、役立つ小物を工夫して製作することができる。 美化に役立つ小物の製作		(1)
3 家庭の経済				5
(1) 家庭の収入と支出	家庭の収入と支出を知り、バランス及び計画的な支出の大切さを理解させる。	家庭生活を維持するための収入と支出の内容について知る。 収入・支出の種類 収入と支出のバランス	個人のプライバシーにかかわる部分もあるので扱いに注意する。	
(2) 商品の選択と購入	物資やサービスの選択、購入、契約についてを理解させ、商品のしようずな購入のしかたを考えさせる。	商品の販売の方法、支払いの方法を知り、しようずな購入のしかたを考える。 いろいろな商品 商品の販売方法 契約とクーリング・オフ 悪質商法 支払い方法 クレジットのしくみ	家庭経済が家庭を支える大きな柱であることを知らせ、自分たちは消費者としてどのようににかかわる必要があるかを考えさせる。	
(3) 消費者の権利と責任	消費者の権利と責任について知り、賢い消費者としての望ましい姿を考えさせる。	家庭における消費の意味を理解し、消費者としての自覚を高める。 消費者の権利 消費者の責任 公的機関の活用		
4 人間関係				2
(1) 家族とのかかわり	家族員の円満な人間関係のマナーを考えさせる。	家族のふれ合いを深め、互いに理解し合うためにはどのようにしたらよいか考える。 家族とのかかわり 家族の変化	子供会やボランティア活動の体験などを発表させ、自分たちの住んでいる地域で行われている具体的な活動にも目を向けさせる。	
(2) 地域の人々とのかかわり	地域の一員としての自覚をもたせる。	地域の中で家族以外の人たちとどのように接しているかを話し合う。 地域の人たちとのかかわり		
5 家庭と地域社会	家庭での問題点を取り上げ地域の生活環境を改善するための工夫、方法について考えさせる。	家庭を取りまわっている環境に目を向け問題点について考える。 地域の環境 環境保全の工夫 資源の節約と再利用	自分たちができる環境保全のための工夫を考えさせる。	2
6 これからの家庭生活	豊かな家庭生活を築くための生活課題に目を向けさせる。	安全で快適な家庭生活を営むために自分にできることは何かを考える。 現在の社会の問題を把握し、これからの家庭生活の在り方について考える。	まとめの作文を発表させるなどして、これから学習する他領域への意欲化を図る。	1

